

# 横浜環状道路の整備促進等に関する要望

平成27年7月27日

横浜市幹線道路網建設促進協議会

平成27年7月27日

横浜市幹線道路網建設促進協議会  
会長 藤 木 幸 夫

## 横浜環状道路の整備促進等に関する要望

平素から、横浜市の市民生活や産業経済の発展のために欠かすことのできない道路網の整備促進にご尽力をいただき深く感謝申し上げます。

特に、国道357号の本牧地区につきましては、平成27年度中の完成に向けて強力に事業を進めていただいています。本地区の完成は当協議会としての悲願であり、これまでの要望に特段のご配慮をいただきました国土交通省をはじめ、関係者の皆様に重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、近年、中国、韓国をはじめ、東アジア諸国の経済成長は著しく、北京、上海、ソウルなどの主要都市では、将来の東アジアの経済の中心地を目指し、港湾、空港、道路網等の都市基盤が急ピッチで整備されています。

一方、我が国の都市基盤はいまだ決して十分でなく、特に首都圏の環状道路の整備率は、世界の大都市圏と比較して極めて低い水準であり、慢性的な交通渋滞によって多額の経済損失や環境負荷の増大を引き起こしています。

**我が国の国土を強靱化し、国際競争力を高め、経済を活性化させるためには、我が国の代表的な国際港都である横浜において、港の物流の効率化をはじめ、企業立地や観光客の増加等、さまざまな効果をもたらす幹線道路網を充実させることが必要**です。

横浜港で取り扱われているコンテナ貨物の約9割は道路輸送に頼っているのが現状ですが、横浜都心や横浜港と東名高速道路をつなぐ自動車専用道路は、慢性的な渋滞が生じている保土ヶ谷バイパスのみとなっており、物資の輸送とともに市民生活にも大きな影響を及ぼしています。

国際コンテナ戦略港湾である横浜港の競争力を強化するためには、保土ヶ谷バイパスに集中する交通の迂回機能を持ち、首都圏や全国の各地から効率的に「人」や「もの」を運ぶ横浜環状道路を早期に整備し、国内集荷力の強化を図ることが喫緊の課題です。

また、平成23年3月に発生した東日本大震災においては、救援活動や支援物資の緊急輸送に主要幹線道路が大いに寄与したところであります。

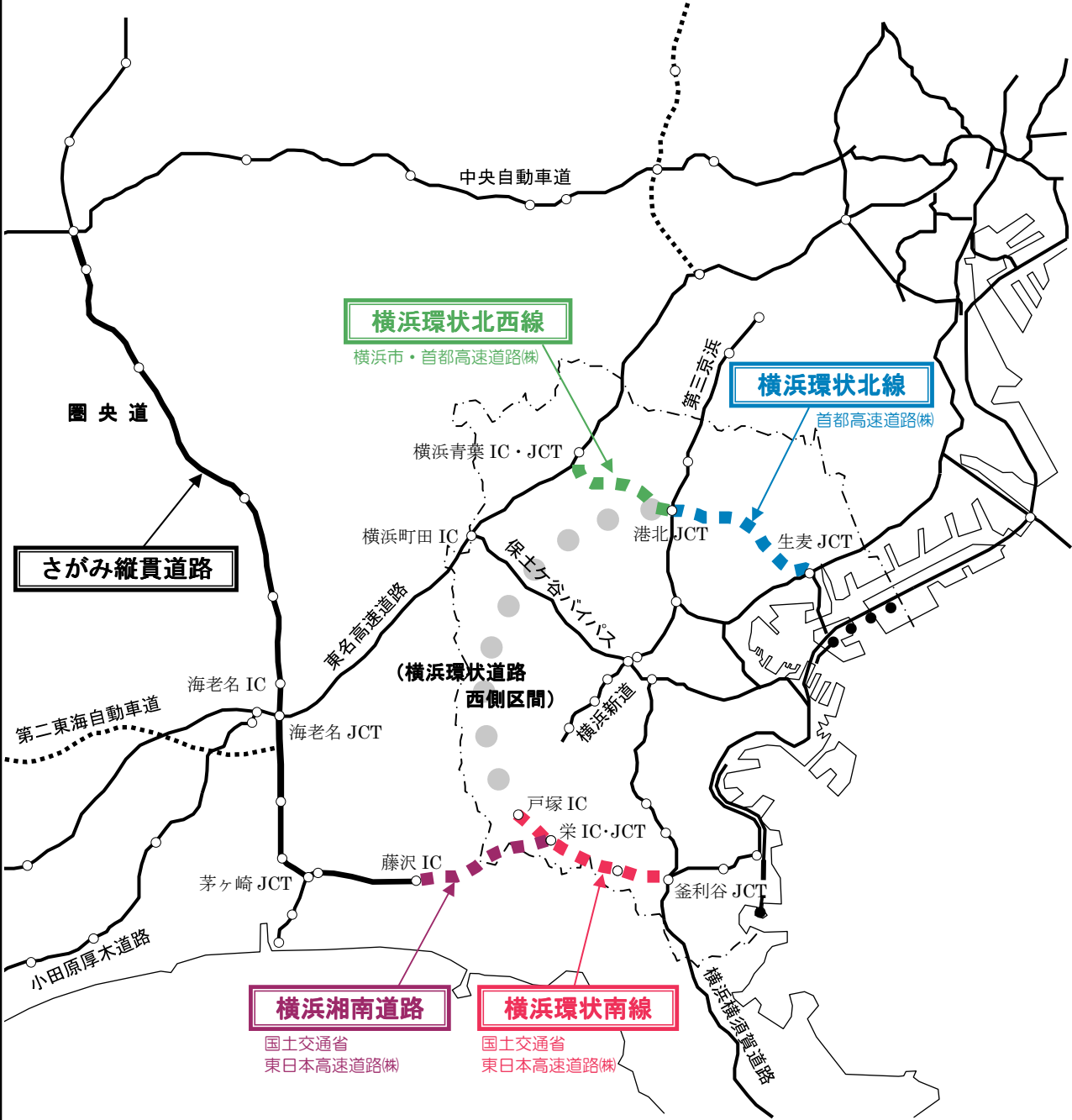
本県を含む南関東地域は、今後30年以内にマグニチュード7クラスの地震が発生する確率が70%程度と推測されており、防災・減災の観点からも高速道路網の早期整備が不可欠であります。

横浜においては、特に、保土ヶ谷バイパスに代わるルートとして、横浜環状道路を早期に開通させることにより、災害時の代替ルートを確保して、都市の強靭化を図ることが急務となっています。

そこで、横浜においても、横浜環状道路等の整備に必要な予算を確保するとともに、早期完成に向けて、整備を促進していただくよう、次の事項について要望します。

- 1 横浜環状北線の平成28年度の完成及び北線と一体的に整備する必要がある関連街路の予算を確保すること。
- 2 横浜環状北西線は、北線と一体となることによって横浜の臨海部と東名高速道路を連絡し、保土ヶ谷バイパスに代わるルートとしての機能を有する路線であるため、北線の開通に大きく遅れることのないよう、平成30年に完成させるために必要な予算を確保するとともに、関連街路の整備に必要な予算を確保すること
- 3 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の一部であるさがみ縦貫道路は今年3月に全線開通しており、圏央道のストック効果をより発揮させるためにも圏央道西側区間で唯一未整備区間となる横浜環状南線、横浜湘南道路について、早期の完成に向けて更なる整備促進を図るとともに、関連街路の整備に必要な予算を確保すること

# 高速道路網図



凡 例	
■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	事業中
● ● ● ● ● ● ● ●	計画中
● ● ● ● ● ● ● ●	調査中

# 横浜市幹線道路網建設促進協議会

横 浜 港 運 協 会

会 長 藤 木 幸 夫

横 浜 商 工 会 議 所

会 頭 佐 々 木 謙 二

神 奈 川 倉 庫 協 会

会 長 小 此 木 歌 藏

一般社団法人 神奈川経済同友会

代表幹事 石 渡 恒 夫

代表幹事 寺 澤 辰 磨

一般社団法人 神奈川県経営者協会

会 長 小 俣 一 夫

公益社団法人 横浜貿易協会

会 長 上 野 誠

一般社団法人 神奈川県トラック協会

会 長 筒 井 康 之

一般社団法人 横浜建設業協会

会 長 土 志 田 領 司

一般社団法人 横浜港振興協会	会 長 藤 木 幸 夫
一般社団法人 神奈川県建設業協会横浜支部	支 部 長 松 尾 文 明
公益財団法人 神奈川産業振興センター	理 事 長 蛭 名 喜 代 作
神奈川県タクシー協会横浜支部	支 部 長 太 田 宏
一般社団法人 神奈川県バス協会	会 長 三 澤 憲 一
一般社団法人 横浜市工業会連合会	会 長 榎 本 英 雄
一般社団法人 横浜青年会議所	理 事 長 稻 葉 崇 浩
神奈川県軽自動車協会	会 長 竹 山 忠 志
神奈川県信用金庫協会	会 長 平 松 廣 司
一般社団法人 神奈川県自動車会議所	会 長 筒 井 康 之
神奈川県自動車販売店協会	会 長 上 野 健 彦
神奈川県中古自動車販売協会	会 長 山 田 久 男
一般社団法人 神奈川ビルディング協会	会 長 大 西 晴 之
一般社団法人 横浜銀行協会	会 長 寺 澤 辰 磨

横浜港埠頭株式会社	代表取締役社長	高島正之
公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー	理事長	新町光示
一般社団法人 横浜市商店街総連合会	会長	岡野誠一
横浜船主会	会長	小磯潮
神奈川旅客自動車協同組合	代表理事	馬場正治
一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会	会長	川本守彦
一般社団法人 神奈川県電業協会	会長	山口宏
公益社団法人 神奈川県宅地建物取引業協会	会長	坂本久
一般社団法人 横浜市建設コンサルタント協会	会長	山本実
大黒ふ頭連絡協議会	会長	小此木歌藏
一般社団法人 横浜市地質調査業協会	会長	藤井幸夫
神奈川県貨物自動車事業協同組合連合会	会長	飯沼健史